



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 パラカ株式会社

コード番号 4809 URL <http://www.paraca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 内藤 亨

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 間嶋 正明

TEL 03-6230-2300

四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・金融機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	5,352	6.9	993	9.0	871	11.7	550	10.2
26年9月期第2四半期	5,006	15.6	911	5.8	779	7.3	499	14.9

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	58.52	57.09	57.09	57.09
26年9月期第2四半期	53.88	52.64	52.64	52.64

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
27年9月期第2四半期	22,714	8,762	8,762	38.2	38.2	38.2
26年9月期	20,694	8,255	8,255	39.5	39.5	39.5

(参考)自己資本 27年9月期第2四半期 8,685百万円 26年9月期 8,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00	12.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	14.0	1,900	9.4	1,600	8.2	1,000	11.9	105.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期2Q	9,915,400 株	26年9月期	9,801,400 株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	415,028 株	26年9月期	415,028 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期2Q	9,412,367 株	26年9月期2Q	9,272,628 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（自平成26年10月1日 至平成27年3月31日）における我が国の経済は、個人消費は依然として緩やかな増加にとどまり、設備投資もほぼ横ばいであったものの、輸出の増加幅拡大により貿易収支は改善し、経常収支は黒字幅が拡大するなど、穏やかに回復しております。

当社の属する駐車場業界においては、慢性的な駐車場不足を背景にその売上について底堅さを維持しております。

このような中で、当社は、引き続き積極的な営業活動を行い、駐車場の新規開設を進めるとともに、既存駐車場の採算性向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間においては133件2,316車室の新規開設、41件523車室の減少により92件1,793車室の純増となり、3月末現在、1,515件21,477車室が稼働しております。

以上の活動により、当第2四半期累計期間の売上高は5,352百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益993百万円（同9.0%増）、経常利益871百万円（同11.7%増）、四半期純利益550百万円（同10.2%増）を計上いたしました。

当社の具体的な駐車場形態毎の状況は以下のとおりであります。

#### （賃借駐車場）

当第2四半期累計期間において131件2,272車室の開設及び41件523車室の減少により90件1,749車室の純増となりました。その結果、3月末現在においては1,402件17,960車室が稼働しております。新規駐車場の開拓が順調に推移し、また、既存駐車場の売上についても堅調であったことから売上高は4,437百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

#### （保有駐車場）

当第2四半期累計期間において仙台市青葉区中央1件30車室、大阪市中央区西心斎橋1件14車室、2か所合計投資額約1,000百万円分の駐車場を取得しました。その結果、3月末現在においては113件3,517車室が稼働しております。既存駐車場の売上について堅調に推移したため、売上高は760百万円（同2.5%増）となりました。

#### （その他売上）

当第2四半期累計期間においては、不動産賃貸収入、自動販売機関連売上、駐輪場売上及び太陽光発電売上により、売上高は154百万円（同7.7%減）となりました。これは、主に自動販売機関連売上が減少したためであります。

当事業年度における駐車場形態毎の販売実績は以下のとおりです。

	前第2四半期累計期間 （自平成25年10月1日 至平成26年3月31日）	当第2四半期累計期間 （自平成26年10月1日 至平成27年3月31日）	前事業年度 （自平成25年10月1日 至平成26年9月30日）
駐車場形態	金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）
賃借駐車場	4,097	4,437	8,281
保有駐車場	741	760	1,465
その他売上	167	154	334
合計	5,006	5,352	10,080

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は22,714百万円となり、前事業年度末に比べ2,020百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産土地の増加（1,085百万円）によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債の部は13,952百万円となり、前事業年度末に比べ1,513百万円増加いたしました。これは主に長期借入金金の増加（1,140百万円）によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産の部は8,762百万円となり、前事業年度末に比べ506百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加（438百万円）によるものであります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の39.5%から38.2%となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前事業年度末に比べ703百万円増加し、2,574百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は前年同四半期に比べ230百万円減少し、726百万円となりました。これは主として、税引前四半期純利益865百万円、減価償却費305百万円、法人税等の支払額442百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は前年同四半期に比べ1,349百万円増加し、1,364百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1,380百万円、有形固定資産の売却による収入52百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は前年同四半期は574百万円でしたが、当第2四半期累計期間は財務活動により1,342百万円を得られました。これは主として、借入金による収入2,652百万円、借入金の返済による支出1,014百万円、リース債務の返済による支出212百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済については、回復の足取りは弱いものの、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の伸びが高まるほか、設備投資の増加が見込まれ、また、円安を背景とした貿易収支の改善により、緩やかに回復していくことが見込まれております。

当社の属する駐車場業界におきましても、引き続き一定の解約はあるものの、依然として、時間貸駐車場の供給は足りず、需給バランスがタイトな状況が続いております。

このような状況のもと、前事業年度に引き続き、新卒を中心とした営業人員の採用及び各拠点に適切な人員の配置を行うとともに、営業支援システムの更なる機能向上を図り、効率的な営業活動を行うことで、駐車場の新規開拓を推進してまいります。既存駐車場については当該システムを活用し、機動的に料金変更を行うなど収益性の向上を目指します。

また、保有駐車場用地については、地方の中核都市を中心として、積極的な取得を進めます。これにより、保有駐車場と賃借駐車場の相乗効果で、駐車場の新規開拓を加速します。

なお、平成27年9月期の業績予想数値につきましては、平成26年11月6日付公表の予想から修正はありません。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が公表している見通しと異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用の計算については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,900	2,604
売掛金	50	94
前払費用	507	509
その他	72	79
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	2,531	3,286
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	768	749
土地	14,460	15,546
リース資産（純額）	1,735	1,712
その他（純額）	845	1,053
有形固定資産合計	17,810	19,062
無形固定資産	23	41
投資その他の資産	329	324
固定資産合計	18,163	19,428
資産合計	20,694	22,714
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	147	182
1年内償還予定の社債	40	40
短期借入金	—	348
1年内返済予定の長期借入金	1,072	1,222
未払法人税等	471	345
賞与引当金	30	33
その他	658	692
流動負債合計	2,420	2,863
固定負債		
社債	290	270
長期借入金	7,865	9,005
リース債務	1,374	1,336
その他	487	476
固定負債合計	10,018	11,088
負債合計	12,438	13,952

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,642	1,674
資本剰余金	1,672	1,704
利益剰余金	5,135	5,573
自己株式	△100	△100
株主資本合計	8,348	8,852
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8	9
繰延ヘッジ損益	△182	△177
評価・換算差額等合計	△174	△167
新株予約権	81	77
純資産合計	8,255	8,762
負債純資産合計	20,694	22,714



(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	5,006	5,352
売上原価	3,598	3,838
売上総利益	1,407	1,514
販売費及び一般管理費	496	520
営業利益	911	993
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
未払配当金除斥益	1	0
その他	0	0
営業外収益合計	2	0
営業外費用		
支払利息	131	121
その他	2	2
営業外費用合計	133	123
経常利益	779	871
特別利益		
固定資産売却益	24	0
特別利益合計	24	0
特別損失		
固定資産除却損	8	6
特別損失合計	8	6
税引前四半期純利益	794	865
法人税等	295	314
四半期純利益	499	550

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	794	865
減価償却費	272	305
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	2
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	131	121
固定資産売却損益(△は益)	△24	△0
固定資産除却損	8	6
売上債権の増減額(△は増加)	△73	△43
仕入債務の増減額(△は減少)	8	35
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△41	△1
その他の流動負債の増減額(△は減少)	94	△32
その他	32	32
小計	1,205	1,291
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△132	△122
法人税等の支払額	△116	△442
営業活動によるキャッシュ・フロー	956	726
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△139	△1,380
有形固定資産の売却による収入	100	52
無形固定資産の取得による支出	△4	△28
敷金及び保証金の差入による支出	△10	△4
敷金及び保証金の回収による収入	43	1
その他	△4	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15	△1,364
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	250	806
短期借入金の返済による支出	△149	△458
長期借入れによる収入	150	1,846
長期借入金の返済による支出	△550	△556
社債の償還による支出	△20	△20
株式の発行による収入	17	49
リース債務の返済による支出	△179	△212
配当金の支払額	△91	△112
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574	1,342
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	366	703
現金及び現金同等物の期首残高	1,443	1,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,810	2,574

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、駐車場の開拓及び運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。